

政治倫理の確立について

意見 タブレット端末の活用と同様

改選前委員会の配付資料の確認から始める必要があるのではないかと。

協議結果 委員間での共通認識を持つため、次回、これまでの協議内容等を確認することとした。

3月14日に開催された委員会では前回の協議結果に基づき検討を行った。

タブレット端末の活用について

意見 導入に当たり、諸課題について、改選前委員会が選定した使用範囲等の5項目の協議を、共通認識とするか確認してから新たな課題について協議してはどうか。

意見 同選定5項目のほか、費用についても協議すべきではないか。

意見 改選前委員会では費用は機種や使用範囲等により異なってくるため、先にそれらを決めてから協議するとして経緯があり、本委員会でも同様としてはどうか。

協議結果 改選前委員会で選定した5項目について各会派で検討し、次回意見を持ち寄ることとした。

政治倫理の確立について、

意見 平成25年改正前条例第11条の

再考について、参考となる最高裁判決内容や自治法の改正内容を確認したい。

協議結果 事務局で最高裁判決文の公表状況及び地方自治法の一部改正に伴う通知等を確認の上、次回関係資料を配付し、次回に、各会派の意見を持ち寄ることとした。

(阿部 誠)

議長の主な動き 1月～3月

- ・ 能代市消防出初式
- ・ 洋上風力期成同盟会 港灣振興会 講演会
- ・ CCS及びCCUS事業に係る勉強会
- ・ 秋田県市議会議長会定例会
- ・ 能代市栄光賞授与式
- ・ 能代山本広域市町村圏組合議会定例会
- ・ 秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ・ 能代市における「コミュニティFM設立に向けた調査・研究成果報告会」
- ・ 市制施行記念能代市表彰式
- ・ 能代市第四保育所開所式

(代理含む)

議長の交際費を公開します《1月～3月分》

- ・ 能代商工会議所 2023年新春のつどい 10,000円
- ・ 一般社団法人能代青年会議所・シニアクラブ2023年度合同新年祝賀会 7,000円
- ・ 能代商工会議所青年部・青年部OB会合同新年会 6,000円
- ・ 向能代地区合同新年会 5,000円
- ・ NPO法人能代市スポーツ協会「新春の集い」・「功労賞授与式」 5,000円
- ・ 能代山本北都会講演会・懇親会 5,000円
- ・ 秋田洋上風力発電株式会社竣工式典竣工記念セッション 5,000円
- ・ 能代商工会議所通常議員総会懇親会 8,000円

※詳しくは本庁舎1階の行政情報コーナーで閲覧できます。
 ※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規定」に準じて支出しております。

各委員会行政視察報告

総務企画委員会

視察日 1月24日～26日
 兵庫 丹波篠山市 黒まめサポーター職員制度、若者たちでまちづくり会議
 大阪府 四條畷市 けいはんな学研区域(田原地区)における地域主体の持続可能なまちづくり

黒まめサポーター職員制度

丹波篠山市では特産品である黒枝豆の収穫期の労働力不足改善、職員の地域貢献活動、人材育成等を目的に職員に農業分野に特化した副業を認めている。現在、制度利用職員は10名。内訳は20代男性職員9名、30代女性職員が1名。当該制度が労働力不足を補うまでには至っていないが農業分野において若手職員が知見を広げること寄与している制度であると感じた。

若者たちでまちづくり会議

丹波篠山市では総合計画の策定段階において、策定に関わる委員に若者があらず、また策定委員からも若者が施策を提案できる機会が必要であるとの意見があった。そこで、若者がまちづくりに対する意見や思いを話し合う会議が開催されることとなった。参加者は、高校生5人、大学生8人、社会人2人の計15人。参加資格は、市内に在住、在学、在勤の16歳から25歳前後の若者または市外在住の場合は出身者または市内で活動している人としていた。テーマは、①篠山駅周辺、②城下町周辺、③中山間・小規模集落から選択し、テーマごとに分かれて、それぞれの地域特性や問

題点を洗い出し、話し合いが行われた。最終回として市長提案会が開催され、市長、副市長、教育長、議長に向けて発表が行われた。各テーマで発表されたものは実施に向けて活動していくことになり、駅周辺に関する提言では、実際に実施されたものもあった。

けいはんな学研区域(田原地区)における地域主体の持続可能なまちづくり

けいはんな学研都市(正式名称・関西文化学術研究都市)とは、京都、大阪、奈良の3府県にまたがる京阪奈の緑豊かな丘陵において、関西文化学術研究都市建設促進法に基づき、建設整備を進めているサイエンスシティであり、国家的プロジェクトに位置づけられている。四條畷市では、市東部の田原地域において地域主体のまちづくり、スマートシティへの取組が行われている。産学官連携を通して、ICT技術を活用した買い物支援実証実験、自動運転・デマンド交通実証実験、ICT機器を活用した認知症初期集中支援サポートにおける実証実験など様々な取組が行われている。本市におけるDX推進等において今後参考になる取組であると



(鍋谷 暁)